

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！
ちから
 企業のちから

No.15 The company in Shirakawa

共栄化工(株) 白河工場
 KYOEIKAKO CO., LTD

住所：白坂松ヶ苗26
 事業内容：粘着剤等の塗布・貼合加工・スリット加工



確かな技術と豊かな創造力で、粘着加工の無限に広がる可能性を追求する



- 1 白河工場の製品の一つ、貼るカイロの粘着面。
- 2 工場の外観。写真右側は、揮発性有機化合物（VOC）対策で導入した排気ガス処理装置と廃熱ボイラー。
- 3 従業員の皆さん。明るく和やかな職場の雰囲気伝わってきました。
- 4 作業工程ごとに区切られている工場内。
- 5 貼るカイロの粘着面をロール状にする作業。
- 6 社長の塚原さん。工場内を丁寧に案内してくれました。

「私たちの会社は、粘着加工技術を生かした委託（受注）加工のほか、各種粘着テープなどを製造しています。加工品は、自動車、家電、電子、建材など、様々な用途に活用されています」と話す社長の塚原研一さん。

共栄化工は、昭和42年に志村タック(有)として東京都板橋区で創業し、昭和49年に現在の社名に変更しました。長年の歴史で培われた確かな技術と豊かな創造力で、粘着加工の無限に広がる可能性を追い求めながら、多様な企業の製品作りや製品開発を応援しています。

昭和50年に、関連会社の紹介で本市に工場を建設し、工場機能を東京から全面移転しました。両面テープや図書館の本に貼られるブックカバー、貼るカイロの粘着面やテーピングテープなど、身近なところで目にする製品がここで製造されています。敷地面積は5,500㎡、社員は47人、そのほとんどが地元の人で構成されているこの工場は、地域雇用に大きく貢献しています。また、環境面や安全面に配慮した事業活動を展開するため、平成18年にはISO14001を取得しました。

「これからも、地域と共生する工場運営を目指していきます。そして、日々新しい製品を創造するため、独自のアイデアを加えながら、多様なニーズに応じていきます」と社長の塚原さんはほほ笑みながら話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、5月17日から6月19日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

6月20日以降の義援金・寄附金は、次号でお伝えします。

- (株)若林商店様
- わしお生活応援館へご来店のお客様
- 不二家川島ベイシア店 (有)マルタ商会 田崎徹也) 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
 (5月22日～6月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会様
- とちぎYMCA様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、関辺小のプール授業風景です。児童たちは、入る前にしっかりと準備運動をした後、プールサイドに座ってバタ足の練習。体をゆっくりと水に慣らしてから、流れるプールを作り、今年初めてのプールを思い切り楽しんでいました。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>